

お う と う

散布時期	発生病害虫	薬剤名 (水100ℓ当薬量)	10a当り散布薬量	使用時期・回数 おうとう	注 意 事 項
3月下旬 (発芽前) (月 日)	カイガラムシ ハセ ん 孔 病 (炭 病)	水 (98ℓ)	300ℓ	発芽前 14日前・3回 7日前・2回	1. 前年度、収穫期間中に、病害果の発生が多かった園地や、収穫作業を途中で切りあげた園地では、園地全体の清耕園を心がけるとともに、病原菌の密度を下げるために、開花直前までに消石灰を散布する。(100kg/10a) 2. カイガラムシの発生が多いので、アブロードフロアブルを加用する。
		スプレーオイル 50倍 (2ℓ)			
		トップジンM水和剤 1,000倍 (100g) アブロードフロアブル 1,000倍 (100cc)			
4月下旬 (風船状開花前) (月 日)	灰 星 病 ハマキムシ類 葉面散布材	展着剤	400ℓ	前日・3回 前日・2回 (開花期まで/1)	1. 訪花昆虫の保護の為殺虫剤の散布に注意する。 2. ミツバチ導入予定の園地では、フェニックスフロアブル4,000倍をファイブスター顆粒水和剤2,000倍にかえて使用する。 ● 樹勢はクロレラ濃縮天然エキスで、光合成を助長する植物の健康食品です。
		フルーツセイバー 1,500倍 (66cc) フェニックスフロアブル 4,000倍 (25cc)			
		樹 勢 600倍 (166cc)			
満開時	灰 幼 果 星 菌 核 病	ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (33g)	400ℓ	前日・3回	1. 散布時期が遅れると効果が劣るので、満開時に必ず散布する。 2. ここ数年、開花時期の天候不順が続いています。満開時は、最も重要な防除になります。天候が悪く、満開までの日数がかかる場合は、早めの防除に努める。
5月上旬 (前回散布7日後) (月 日)	灰 幼 果 炭 星 菌 核 病 ハマキムシ類 葉面散布材	展着剤	400ℓ	前日・2回 21日前/2回 前日・3回	1. 灰星病、幼果菌核病の多い園、或いは、雨の日が続いた場合や、低温の影響で開花期間が長びくと予想される場合は、前回との散布間隔を短かくして、散布する。 2. ミツバチ導入している園地では、サムコルフロアブル2,500倍にかえて、ファイブスター顆粒水和剤2,000倍を使用する。 ● ロイヤルシリカMGはケイ酸含量の多い、多孔質乾燥促進材です。この乾燥作用によって花弁落下が促進される。 ● ニューライパー花実技は強力アミノ酸液で、特にプロリンを多く含む花の栄養材です。500倍で使用 する。 3. クサギカメムシの発生に注意する。(特に山際、放任園に近隣する園地)
		パスワード顆粒水和剤 1,000倍 (100g) ジマンダイセン水和剤 600倍 (166g) サムコルフロアブル10 2,500倍 (40cc)			
		ロイヤルシリカMG 600倍 (166g) ニューライパー花実技 500倍 (200cc)			
5月中旬 (満開15日後) (月 日)	灰 炭 星 菌 核 病 ハマキムシ類 葉面散布材	展着剤	500ℓ	14日前・3回 3日前・2回	4. カイガラムシの発生が多い場合は、以下の薬剤を使用できる。
		ダイパワー水和剤 1,000倍 (100g) アグロスリン水和剤 1,000倍 (100g)			
		ニューライパー花実技 500倍 (200cc)			
5月下旬 (月 日)	灰 炭 星 菌 核 病 ハマキムシ類 カメムシ類 ハダニ類 葉面散布材	パレード15フロアブル 2,000倍 (50cc)	500ℓ	前日・2回 前日・3回 前日・1回	● 近年、収穫時期後半に黒斑病の発生が見られるので、注意する。 黒斑病 (アルタナリア果実腐敗病) 対策として (ナリアWDG 2,000倍 (50g) オンリーワンフロアブル 2,000倍 (50cc) ※早生種の収穫が近いので使用時期に注意する。
		アーデントフロアブル 2,000倍 (50cc) ダニオーテフロアブル 2,000倍 (50cc)			
		樹 勢 600倍 (166cc)			
6月上旬 (月 日)	灰 炭 黒 星 斑 病 ハマキムシ類 オンリーワンフロアブル	オンリーワンフロアブル 2,000倍 (50cc)	500ℓ	前日・3回 前日・2回	
		テッパン液剤 2,000倍 (50cc)			
収穫14日前 (月 日)	葉面散布材	コリンパワーG 500倍 (200cc)			
6月中旬 (月 日)	灰 幼 果 炭 星 菌 核 病 ハマキムシ類 ハダニ類	ナリアWDG 2,000倍 (50g) テルスターフロアブル 3,000倍 (33cc)	500ℓ	前日・3回 前日・2回	
		コリンパワーG 500倍 (200cc)			
収穫7日前 (月 日)	葉面散布材	コリンパワーG 500倍 (200cc)			
収穫直前 (月 日)	灰 幼 果 炭 星 菌 核 病 ハマキムシ類 ハダニ類	インダーフロアブル 5,000倍 (20cc) ダントツ水溶剤 2,000倍 (50g)	400ℓ	前日・2回 前日・2回	
		展着剤			
収穫直後 (月 日)	せ ん 孔 病 ハマキムシ類 葉面散布材	オキシラン水和剤 600倍 (166g) サイアノックス水和剤 1,000倍 (100g) マイトコーネフロアブル 1,000倍 (100cc)	500ℓ	収穫後～落葉期 まで・3回 14日前・2回 14日前・1回	
		樹 勢 600倍 (166cc)			
		展着剤			
7月下旬～ (梅雨明け直後) (月 日)	せ ん 孔 病 ウメシロカイガラムシ 若 齢 幼 虫 ハダニ類 葉面散布材	ドクリンフロアブル 800倍 (125cc) アブロードフロアブル 1,000倍 (100cc) カネマイトフロアブル 1,000倍 (100cc) ニューライパー花実技 500倍 (200cc)	500ℓ	収穫後～落葉期 まで・3回 7日前・2回 7日前・1回	
		展着剤			
		ドクリンフロアブル 800倍 (125cc) フェニックスフロアブル 4,000倍 (25cc)			
8月中旬 (月 日)	せ ん 孔 病 ウメシロカイガラムシ 若 齢 幼 虫 ハダニ類	ドクリンフロアブル 800倍 (125cc) フェニックスフロアブル 4,000倍 (25cc)	500ℓ	収穫後～落葉期 まで・3回 前日・2回	
		展着剤			
10月中旬～下旬 (月 日)	コスカシバ	トラサイドA乳剤 200倍 (500cc)		収穫後～ 萌芽前・1回	ふ化が揃う時期になります。樹皮深く食入する前に、幹や大枝に十分散布する。
落葉後 (月 日)	褐 色 せ ん 孔 病 炭 (樹 脂 細 菌 病)	展着剤		○ 発芽前	樹脂細菌病は落葉後～発芽期に感染が多くなります。落葉後早めに散布する。 剪定後、必ずトップジンMペーストを塗布する。
		ICボルドー66D 40倍 (2.5kg) 又は石灰硫黄合剤 10倍 (10ℓ)			

モベントフロアブル 2,000倍 (50cc)	7日前/3回	カイガラムシ類	ハダニ類
トランスフォームフロアブル 2,000倍 (50cc)	3日前/3回	カイガラムシ類	

※早生種の収穫が近いので使用時期に注意する。

殺虫剤の使い方

分類	農 業 名	濃 度	使用時期・使用回数
合成ピレスロイド剤	アーデントフロアブル	2,000倍	収穫前日・3回
	テルスターフロアブル	3,000倍	収穫前日・2回
	アディオンフロアブル	2,000倍	収穫前日・2回
	スカウトフロアブル	3,000倍	収穫前日・2回
ネオニコチノイド系	ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫前日・2回
	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日・2回
ジアミド系	パリアード顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日・2回
	サムコルフロアブル	2,500倍	収穫前日・3回
	エクシレルSE	2,500倍	収穫前日・3回
	テッパン液剤	2,000倍	収穫前日・2回
ヨーバルフロアブル	5,000倍	収穫前日・2回	
スピノミン剤	ディアナWDG	1万倍	収穫前日・2回

- 近年、収穫時期後半に黒斑病の発生が見られるので、注意する。
黒斑病 (アルタナリア果実腐敗病) 対策として
(ナリアWDG 2,000倍 (50g)
オンリーワンフロアブル 2,000倍 (50cc)
- 〈注意〉ナリアWDGを使用する際は、なし(特にル・レクチェ)、ぶどう(ピオーネ、藤稔、サニールジュ、シャルドネ)にかからないように注意してください。

褐色せん孔病対策

- 近年、褐色せん孔病による早期落葉の園地が多く見られます。早期落葉することにより、①花芽の充実不良 ②樹勢の低下 等の悪影響の原因になります。
- 前年、早期落葉した園地では本年の発病も多くなるため特に注意 (落葉した葉が発生源の第1の原因です)
- 薬剤散布をさらに1～2回追加散布をしてください。
オキシラン水和剤 (収穫後～落葉期まで3回)
ドクリンフロアブル (収穫後～落葉期まで3回)
ICボルドー66D (回数制限なし)

殺ダニ剤の使い方

分類	農 業 名	濃 度	使用時期・使用回数
新規系統	ダニオーテフロアブル	2,000倍	収穫前日・1回
	スターマイトフロアブル	2,000倍	収穫前日・1回
	ダニコングフロアブル	2,000倍	収穫前日・1回
テトロン酸系	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	収穫前日・1回
	アセチノシル	カネマイトフロアブル	1,000倍
ピフェナゼート	マイトコーネフロアブル	1,000倍	収穫14日前・1回
	アムメチンシルバイン	コロマイト乳	1,000倍
	アカリタッチ乳剤	2,000倍	収 穫 前 日

注意事項 農薬の使用にあたっては必ず商品ラベルの表示を確認し、ラベル記載どおりに使用して下さい。

おうとうの生態調査

(山形県農業総合研究センター園芸試験場調査)

品 種	発 芽 期			展 葉 期			開 花 期									収 穫 盛 期			備 考
	6年	5年	平年	6年	5年	平年	開 花 始 期			満 開 期			落 花 期			6年	5年	平年	
							6年	5年	平年	6年	5年	平年	6年	5年	平年				
紅 さ や か	3/29	3/22	3/26	4/15	4/12	4/20	4/14	4/10	4/19	4/19	4/21	4/25	4/30	5/3	5/8	5/30	6/1	6/5	
佐 藤 錦	3/29	3/23	3/26	4/16	4/13	4/21	4/15	4/11	4/20	4/20	4/21	4/25	5/3	5/4	5/8	6/13	6/15	6/18	
山形C12号	3/19	3/19	3/20	4/13	4/8	4/17	4/12	4/7	4/16	4/16	4/15	4/21	4/27	4/27	5/1	6/13	6/19	6/25	
紅 秀 峰	3/21	3/20	3/21	4/13	4/11	4/18	4/12	4/8	4/17	4/16	4/16	4/23	4/28	4/28	5/3	6/16	6/23	6/27	
ナボレオン	3/25	3/22	3/25	4/15	4/11	4/21	4/13	4/10	4/19	4/17	4/20	4/24	4/29	5/1	5/4	-	-	-	